



迷路に集中・真剣・全力投入！

こんなに真剣な顔、気合の入った姿は初めて見ました

2月26日(木)、スペシャルプログラムでは脳を育てる効果的なアイテムといわれる迷路にクレヨンぽけっとのみんなで挑戦しました。

初級は①～⑧、中級は①～⑭、上級は①～⑱の課題を用意し、1・2年生は初級の①から、3年生以上は中級の①からスタートし、クリアできたら次の番号に進むことができるようにしました。

出来上がった迷路図を手にして小走りでチェックを受け、見事クリアしては次の課題を手にしてまた小走りで自席にもどっては迷路に挑戦を繰り返しましたが、子どもたち一人一人の真剣な表情、全力投球の集中した姿は是非保護者の皆様に見ていただきたいほど素晴らしいものでした。



迷路で育つ能力と脳

迷路で遊ぶことで脳の活性化が図られ、得られる知育効果は知られていますが、改めて育つ能力、鍛えられる力についてまとめてみました。

空間把握能力(全体構造把握力)

迷路の全体像、位置関係などを素早く正確に把握することが求められます

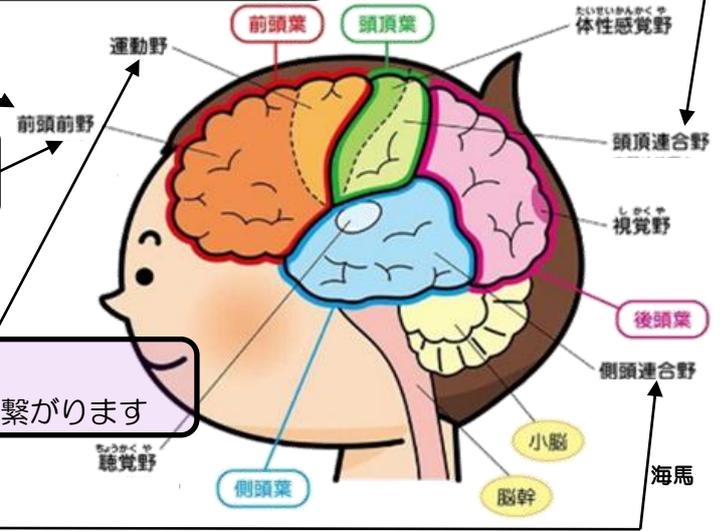
推理力・想像力・先見力(見通し力)
ゴールまでの正しいルートを予測します

思考力・判断力
分岐のたびに行き先を判断、決断を繰り返します

集中力・忍耐力
試行錯誤の連続、繰り返しが必要です

運筆力(書写力)
ルートを正確になぞることで文字を正しく書く力に繋がります

記憶力
失敗したルートを忘れずにゴールをめざします



鵜の目鷹の目 (UNOMETAKANOME)



LUNA SEA真矢くんの思い出

2月17日、LUNA SEAのドラマー真矢くんが亡くなりました。56歳の若さで逝ってしまい、驚くとともに残念でなりません。私がなぜ真矢くんと呼ぶのかということ、実は彼は中学1年生の時、私のクラスの生徒であり、私が顧問をしている吹奏楽部の部員でもあったからです。

昭和57年(1982年)4月に秦野市立本町中学校に入学してきた山田真矢くんは、人なつっこい大きな瞳をした小柄で可愛らしい男の子でした。吹奏楽部では数少ない男子部員ということで大きなチューバを担当してもらいましたが、必死になってチューバと格闘(?)している姿を今でも思い出します。

学級では堅実で真面目なE君が学級委員長になりましたが、みんなの人気者でクラスのムードメーカーである真矢くんが副委員長に選ばれました。

幼いころから父親の影響を受け、能の舞いを習ったり、お祭りの囃子太鼓を叩くなど人前に出ることや目立つことへの抵抗が少ないこともあり、学級の活動では常にリーダーとしてみんなをまとめたり、笑顔の輪を広げるなど担任としては貴重でありがたい存在でした。

秋の運動会に向けた総合練習の際、途中で急に雨が降ってきたため急遽全員クラスへ戻り、天候回復を待つという時がありました。特に何をやるということもなく各クラスでは生徒たちがザワザワ、それぞれ自由な時間を過ごしていましたが、私のクラスだけは違いました。

真矢くんが音頭をとって、机と椅子をすべて教室の後ろに寄せて、広い空間を作り、全員でレクリエーション大会が始まったのです。圧巻だったのは、真矢くんが当時はやっていた細川たかしの北酒場を絶唱するステージショーでした。こぶしの効いた北酒場と一体となった聴衆(?)の手拍子はまさにライブ会場のようであり、他のクラスから見物人が押しかける状況でした。



私は翌年4月に転勤となってしまい、真矢くんの卒業を見送ることはできませんでしたが、長い教員生活の中でもとても印象に残る教え子の一人に違いありません。

一昨年の3月に真矢くんが母校である本町中学校を訪問した時に会いに行きましたが、私のことをしっかり覚えていてくれ、42年ぶりに親しく話すことができました。写真はその時のツーショットになります。

全国的な有名人になった彼ですが、私の中では北酒場を歌った真矢くんがしっかり生きています。あまりに早い逝去を悲しむとともにご冥福を心からお祈りいたします。合掌。

By 金子信夫